

き か ん 紙

283号

1995.2.8 横浜室内合唱団発行

寒い日が続いています。コ-ラルフェストが無事に終わりました。今回は、風邪をひいて出られなくなる人もなく、良好な状況でした。

私たちの団体は、コ-ラルフェストの中でも特異な存在です。小学生は出場しないと思われたり、講評の中でもあったようにばらばらな寄せ集めに見えたりしているのです。しかし、もう私たちは何回も出ていますから、このような存在は知られています。今回のコ-ラルフェストの役員の手伝いのときも知っている人がいました。それだけに、子どもを使っていると思われたくありません。子どもを同化して、大人たちがしっかり包んでいるという印象を与えたかったのです。これは、やはり講評の中に、まとまりを感じたということが書かれていたので、まあ成功と言えるでしょう。

では以下に講評を載せておきます。講評用紙に書かれている字がはっきりしない面があるので、活字に直しておきました。用紙のコピ-は別にお配りします。

・安藤友侯(あんどうともよし) ピアノ

あたたかな雰囲気、いいですね。二階席から拝聴しまして、もう少し中央寄りに位置されますと、あるいは今よりもっと声の重なり合いがしっかりするかもしれないと思いました。すこし男の方の声が散れてしまってますので、御一考下さい。お子さん達の素直な声がすばらしかったですよ。

・草間美也子(くさまみやこ) オルガン

年代も様々、洋服も色々の割にまとまっているのでびっくりしました。個性のある音楽とはいえませんが、自然な感じがとても良いと思います。技術や音楽については、もう少し細かく丁寧に学んでいらっしやると良いと思います。

・小泉ひろし(こいずみひろし) 指揮

人に聞かせるというよりは、自分達が楽しんじゃうという家庭的な合唱団でした。・田中奈美子(たなかなみこ) 声楽

色々な年代の交った八-モニ-は、とても自然な響きで、何か新鮮に感じられました。原石の美しさと言う印象ですが、その美しさと自然さを失わず、色々と挑戦してみてください。楽しみにしています。

・土屋泰子(つちややすこ) 教育

子どもと大人といっしょに歌う合唱団、その意義は大きいと思います。肩の力をぬいた歌いぶりはいいと思います。せっかくの混声、男性の声をもう少し生かした方がよいと思いました。子ども達もよく歌っていましたね。楽しい演奏でした。

・中村義春(なかむらよしはる) 声楽

アットホ-ムな温かい雰囲気を持った合唱団でとてもほほえましく、聴く者も心が温かくなるような歌でした。難しい声の構成でしたが、上手にまとめていました。1人1人が歌う心を持っているのが何より良い点ですね。この気持ちを大切にしてください。

・吉田孝古磨(よしだこうこまる) 指導

1曲目は3/4拍子の拍子感をもう少し表面にうち出した演奏がのぞまれます。2曲目はスロ-ワルツですから、流れのように歌われてました。リラックスしてゆったりとした気分になれるように雰囲気をつくりたいものですね。ポピュラ-な曲ですから-。やわらかい発声は良かった。

2月11日(土)の練習は、祝日で教会が借りられないので、無しとなりました。